令和7年度 第1回 東松山市国民健康保険運営協議会 会議録

開催日時	令和7年8月22日(金)		開 会	午後1時30分		
			閉 会	午後2時30分		
開催場所	全員協議会室					
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 報告事項 (1) 令和6年度東松山市国民健康保険特別会計決算概要について (2) 令和7年度東松山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (案)について (3) その他 4 その他 5 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		2人	
委 員	会 長	島田 安三	出席	委 員	盧 勇	出席
	副会長	林 正治	出席	委 員	新井 稔明	欠席
	委 員	椎名 和昭	出席	委 員	大塚 幟	欠席
	委 員	上 萬里子	出席	委 員	井上 辰憲	出席
	委 員	横田美代子	出席	委 員	笛木 久子	出席
	委 員	倉本美奈子	出席	委 員	矢萩 義則	出席
	委 員	澤田 勘孝	出席	委 員	風間 千草	欠席
	委 員	須田 清美	出席			
事 務 局	健康福祉部長 柳沢 知孝		健康福祉部次長 山口 勉			
	保険年金課長 太宰 英郎		保険年金課副課長 小見 慶治			
	保険年金課主査 真鍋 修章		収税課長 落合 要之			

次 第	顛 末
1 開 会	<p>— 事務局開会宣言 —</p> <p>(本日の出席委員数は 12 名、東松山市国民健康保険に関する規則第 5 条第 3 項の規定による定足数に達しているため、会議が成立したことを報告)</p>
2 あいさつ	<p>— 島田会長あいさつ —</p>
3 議 事	<p>小見副課長 本協議会の会議は、東松山市国民健康保険に関する規則第 5 条第 1 項の規定により、会長が議長となることとされておりますので、以降の進行につきましては、島田会長にお願いいたします。</p> <p>島田会長 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>(会議録の署名委員について、横田委員と須田委員を指名) (会議は公開するものとし、傍聴者 2 名が入室)</p> <p>島田会長 それでは、議事に入ります。</p> <p>報告事項(1)令和 6 年度東松山市国民健康保険特別会計決算概要について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>小見副課長 — 報告事項(1)の資料について説明 —</p> <p>島田会長 説明が終わりました。御質問、御意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>林副会長 被保険者のうち、外国籍の方について伺います。</p> <p>外国籍の方の人数、及び保険税の収納率、加えて、外国籍の方の収納率が低い場合は、考えられる理由について教えてください。</p> <p>また、保険税の不納欠損として、大きな額が計上されていますが、不納欠損の主な事由について、教えてください。</p> <p>太宰課長 被保険者のうち、外国籍の方は、令和 7 年 4 月 1 日時点で 1,377 人・1,239 世帯、前年の令和 6 年 4 月 1 日時点では 1,172 人・1,039 世帯で、増えている状況です。なお、国の調査では、外国籍の方の保険税の収納率は、日本人を含む全体の収納率より低い状況にあるため、現在、国において、国保加入時に保険税を前納する仕組みや、保険税の納付情報を在留審査に活用する制度などが検討されています。</p>

<p>落合課長</p>	<p>本市における外国籍の方のみの保険税の収納率は、現時点では把握しておりません。収納対策についても、外国籍の方に特化した対策は行っておらず、日本人と同様に対応しております。外国籍の方は、日本語を良く理解できないことが多くありますので、丁寧に説明を行い、納付を促しております。</p> <p>続いて、保険税の不納欠損の事由につきましては、主に2つとなります。1つめは、差し押さえる財産がないときや、生活困窮の状態にあるとき、所在や財産がともに不明なときのいずれかに該当した場合に滞納処分 of 執行を停止し、不納欠損に至るケースです。2つめは、時効によって徴収権が消滅するケースです。</p>
<p>椎名委員</p>	<p>保険税を納付しない人に対しては、保険給付を受ける上で、どのようなペナルティがありますか。</p>
<p>太宰課長</p>	<p>保険税を納付しない場合でも、すぐに保険給付を受けられなくなり、医療機関の窓口で10割を負担するようになるということはありませんが、理由もなく1年以上保険税を納付しない場合は、特別療養費とって、10割負担となることがあります。</p>
<p>小見副会長</p>	<p>特別療養費は、医療機関の窓口で一旦10割を支払った後、保険年金課の窓口で保険給付分の支給を申請するというもので、その際、納税の相談を行うこととなります。現状、特別療養費を適用している方はいません。</p>
<p>島田会長</p>	<p>資料「被保険者数・世帯数の推移」を見ると、被保険者数・世帯数ともに減少しています。一方で、日本全体の人口も減少し続けていて、昨年の出生数は約69万人、70年ほど前の出生数は約200万人だったことを考えると、この国の活力は将来どうなるのかという懸念があります。</p> <p>資料「医療費の推移」については、今後、新薬の開発など医療の高度化が進んでいくことを考えると、1人当たりの医療費が下がっていくことはないだろうと思われます。</p> <p>制度を支える側が減っていく一方、1人当たりの医療費が上がっていくこと、加えて、東松山市の税率は県が定める本来必要な税率と比べて低い状況にあることを踏まえると、税率を上げていかざるを得ないとはいえ、被保険者の皆様からどれだけ理解を得られるのかという懸念があります。</p> <p>また、国民健康保険の被保険者数の減少要因となっている社会保険の</p>

	<p>加入対象の拡大については、これまで、事業所の従業員数や、月収 8 万 8 千円以上といった抑制がありましたが、将来的には、週当たり労働時間が 20 時間以上であれば社会保険に加入となり、パート勤務の方などが次々に国民健康保険から社会保険に移行していくことが見込まれます。人口減とは違う理由でも国民健康保険を支える側が減っていくこととなりますので、国民健康保険の制度運営について、国がどのように考えているのかということが気になります。</p> <p>保険税の収納率については、以前、東松山市は県内でも上位であったと記憶していますが、直近の令和 6 年度における実績においても、引き続き県内の上位にあるのでしょうか。</p>
落合課長	<p>順位をすぐに把握できる資料はありませんが、県内の平均は上回っている状況です。</p>
島田会長	<p>収税課では、滞納されている方に対し、寄り添った形で対応していると過去に聞いておりますので、引き続き頑張ってくださいと思います。</p> <p>ほかに、御質問、御意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>— なし —</p> <p>ないようでしたら、報告事項ですので、内容について御了承いただき、次に移らせていただきます。</p> <p>報告事項(2)令和 7 年度東松山市国民健康保険特別会計補正予算(第 1 号)(案)について、事務局から説明をお願いします。</p>
小見副課長	<p>— 報告事項(2)の資料について説明 —</p>
島田会長	<p>説明が終わりました。御質問、御意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
林副会長	<p>今回の補正予算は、子ども・子育て支援金制度の導入に向けたシステム改修、令和 6 年度の決算に伴う剰余金の繰越しといった内容で、剰余金の一部は基金に積み立てるということですが、この基金については、医療費の突然の変動に対応するためという役割もありますが、保険税率の激変に対処するための活用ということにも配慮いただければと思います。</p> <p>なお、現時点で、令和 7 年度末の基金残高見込は約 4 億 3 千万円という</p>

	<p>ことですが、昨年、税率等について諮問を受けた際の参考資料「年度末基金残高の推移」において、税率改正した場合の令和7年度末見込が約4億4千万円であったため、概ね予測どおりであったと思われま</p>
椎名委員	<p>子ども・子育て支援制度の導入で、どのような変化があるのでしょうか。</p>
太宰課長	<p>子ども家庭庁の説明によりますと、社会連帯の理念を基盤に、子どもや子育て世帯を全世代・全経済主体で支える、新しい仕組みを作ろうということになっております。これまでも子育て世帯には様々な給付が行われていますが、さらなる給付拡充のための財源として、全世代・全経済主体から拠出をしてもらうということで、令和8年度から、国民健康保険からも拠出するという新たな制度になります。</p>
島田会長	<p>ほかに、御質問、御意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>— なし —</p> <p>ないようでしたら、報告事項ですので、内容について御了承いただき、次に移らせていただきます。</p> <p>報告事項(3)その他について事務局から説明をお願いします。</p>
小見副課長	<p>— 報告事項(3)の資料について説明 —</p>
島田会長	<p>説明が終わりました。御質問、御意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
椎名委員	<p>県が示す市町村標準保険税率について、令和6年度から令和7年度にかけて少し上がっていますが、毎年上がっていくのでしょうか。</p>
太宰課長	<p>傾向としては、これまでも上がってきていて、これからも上がっていくものと見込んでおります。</p>
島田会長	<p>県方針では、法定外一般会計繰入金削減・解消を図るとしてはいますが、県が示す市町村標準保険税率と乖離した税率を設定している市町村は、現在も一般会計からの法定外繰入れを行っているということでしょうか。</p>

太宰課長	現在も一般会計からの法定外繰入れを行っている市町村はありますが、県方針では、法定外一般会計繰入金金の解消を目標としていますので、今後は解消が進むものと考えております。
横田委員	令和9年度から、県が示す市町村標準保険税率どおりに税率を設定することとなると、令和8年度の税率改正で、今の税率と市町村標準保険税率の中間くらいまで税率を引き上げなくてはならないと思われませんが、市としては、どのように考えているのでしょうか。
太宰課長	本市としては、県方針を踏まえ、令和9年度に向けて、令和7年度から段階的に税率改正を行いたいと考えております。なお、令和8年度に設定する税率につきましては、11月に県から提示予定の市町村標準保険税率の試算値及び1月に改めて提示予定の本算定値を踏まえ、検討していきたいと考えております。
島田会長	<p>ほかに、御質問、御意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>— なし —</p> <p>ないようでしたら、報告事項ですので、内容について御了承願います。本日の議事については、以上でございますが、これまでの内容について、改めて確認したい事項や御意見などはございますか。</p> <p>— なし —</p>
島田会長	ないようでしたら、以上をもちまして、全ての議事を終了し、議長の役を降ろさせていただきます。御協力ありがとうございました。
4 その他 小見副課長	— 今後の予定等について事務連絡 —
5 閉 会	<p>— 林副会長あいさつ —</p> <p>— 事務局閉会宣言 —</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和7年9月17日</p> <p>署名委員 <u>横田 美代子</u></p> <p>署名委員 <u>須田 清美</u></p>	